

令和6年度の重点課題

【情意面での課題】

・「休憩時間は、外に出て楽しく体を動かしている。」と回答した児童が、約74%であるが、否定的な回答した児童は、約25%であり、休憩時間に、教室で過ごしている児童が多いことが分かる。

【体力面での課題】

・男子
「握力」、「長座体前屈」、「反復横跳び」、「ボール投げ」において、県平均・全国平均より低い。
・女子
「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横跳び」、「立ち幅跳び」において、県平均・全国平均より低い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

【体育の授業内】

○年間を通して準備運動(10分程度)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。

- ・しつぽとり
- ・新聞ボール投げ合戦
- ・ねことねずみ 等

○準備運動の際、主に握力を鍛えるために、手押し車じゃんけんや上体起こし、かえるの足うち等、体を支える運動の中から一つを毎回の授業で必ず行うようにする。

○体育の授業の導入部分で「握力」「立ち幅跳び」を高める

【体育の授業外】

○学校行事として、11月にクラス対抗の「大縄跳び大会」を開催し、寒くなる時期にも継続的に外に出て体を動かす機会を設ける。

○週に一度、休憩時間に学級での外遊びを奨励する。
○なわとびカードを作成し、継続的に縄跳びに取り組めるようにする。

○月に1回縦割り班での外遊び等を行い、外で体を動かす時間を設ける。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.10	20.52	37.24	39.17	46.11	9.60	151.38	21.24	52.93	第5学年	15.05	17.05	39.95	39.24	43.25	9.91	143.33	14.45	54.50

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

「R7年度の県調査結果が判明した後、最新の情報を公表します。」

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	89.66	10.34	0.00	0.00	第5学年	71.43	23.81	4.76	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○年間を通して準備運動(10分程度)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。

その際、新体力テストの結果が県平均値かつ全国平均値未満の項目を高める動きを中心に取り入れるようにする。

・ジャンプおに(「立ち幅跳び」)・タオル取りおに(「50メートル走」)・ねことねずみ(「50メートル走」)・9本ラインおにごっこ(「反復横跳び」)等

○体育の授業の導入部分で「50メートル走」を高めるため、サーキットトレーニングをしたり、柔軟性を高めるために、ストレッチを行ったりする。また、「反復横跳び」を高めるために、9本ラインおにごっこを行う。

○体育の授業の中で、体を動かす時間を十分に確保する。

体育の授業以外で行う取組内容

○学校行事として、11月にクラス対抗の「大縄跳び大会」を開催し、寒くなる時期にも継続的に外に出て体を動かす機会を設ける。

○週に一度、休憩時間に学級での外遊びを奨励する。

○なわとびカードを作成し、継続的に縄跳びに取り組めるようにする。

○月に1回縦割り班での外遊びを行い、外で体を動かす時間を設ける。

○体育委員会が中心となり、遊びの企画を行う。

重点課題

情意面での課題

・「体を動かしたり、運動をしたりすることが好きだ。」と肯定的に回答した児童は、91.3%、「体育の授業は楽しく体を動かしている。」と回答した児童は、94.6%とあり、ほとんどの児童が運動が好きであることが伺える。

・「休憩時間は、外に出て楽しく体を動かしている。」と回答した児童が、73.1%であるが、否定的に回答した児童は26.9%であり、休憩時間に、教室で過ごしている児童が多いことが分かる。

体力面での課題

・令和6年度の結果と比較すると、男女合わせて12項目が県平均値・全国平均値以下である。現段階では、男女ともに50メートル走と立ち幅跳びに課題がみられる。

令和8年度の
重点目標値

- 「立ち幅跳び」「50メートル走」を県平均以上にする。
- 体を動かしたり、運動をしたりすることが好きだと答える児童の割合を90%以上にする。
- 休憩時間は外に出て、楽しく体を動かしていると答える児童の割合を80%以上にする。